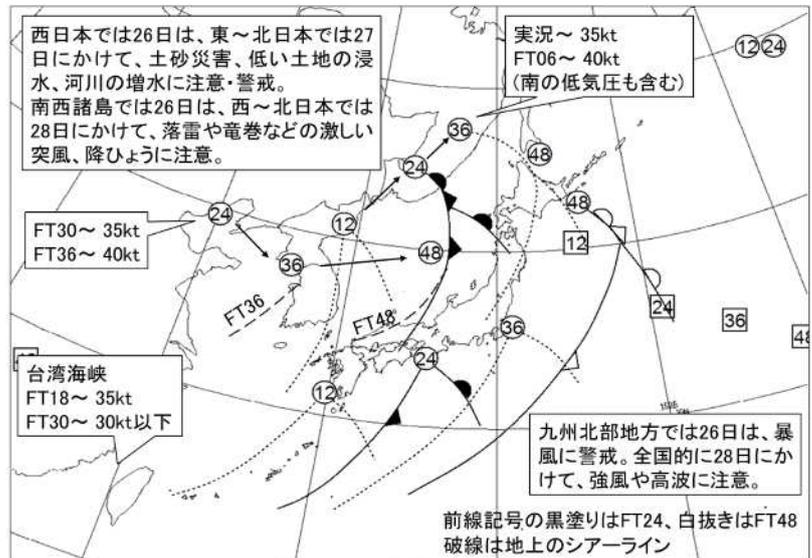


1. 実況上の着目点

- ① 華北付近には 500hPa -36℃以下の寒気を伴った 5340～5640m のトラフがあって東北東進。黄海付近にはトラフに対応した前線を伴った低気圧があって、発達しながら北東進。
- ② 華中付近には 500hPa 5700～5760m の浅いトラフがあって東北東進。東シナ海上にはトラフに対応する前線があって、東北東進。
- ③ 北日本付近にある高気圧縁辺を回る下層暖湿気が①～②の低気圧や前線に向かって流れ込み、大気の状態が非常に不安定となっていて、九州西海上～南西諸島付近では、1時間 50mm の非常に激しい雨を解析、雷を検知。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①のトラフは26日朝には黄海付近へ進む。対応する1項①の低気圧は26日朝には日本海西部に進み、27日にかけて閉塞しながら沿海州付近へ進む。また、26日朝までに1項③の前線のキンク上に低気圧が発生し、27日にかけて西～東日本太平洋側を東北東進し、日本の東に進む。これらの低気圧からのびる前線は、26～27日にかけて西～北日本を通過する。低気圧周辺や前線近傍では気圧の傾きが大きくなり、26～27日は、非常に強い風や強い風が吹いて、波が高くなり、しけとなる所がある。九州北部地方では26日は、暴風に警戒し、全国的に27日にかけて、強風や高波に注意。また、低気圧や前線に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り大雨となる所がある。西～東日本では26～27日は、北日本では27日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。南西諸島や西日本では26日は、東日本や北日本では27日にかけて、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょうに注意。
- ② 27～28日は500hPa -39℃以下の寒気を伴った5160m付近の寒冷渦が中国東北区をゆっくり東進。対応して、27～28日はシアーラインを伴った低気圧が日本海～北日本を東北東進し、28日夜にはオホーツク海へ進む。低気圧やシアーライン近傍では、気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹き、日本海側を中心にしけとなる所がある。また、上空の寒気の影響により低気圧やシアーライン近傍では、大気の状態が非常に不安定となる見込み。西～北日本では27～28日は、落雷や竜巻などの激しい突風、降ひょう、強風や高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(06時からの24時間)：関東・東海・四国 120、近畿 100mm。
- ② 波浪(明日まで)：北海道・東北・北陸・関東・伊豆諸島・近畿・中国・九州北部・沖縄 4、その他 3m。
- ③ 高潮(明日まで)：西～東日本では注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「雷と突風及び降ひょうに関する全般気象情報」を05時頃に発表予定。

量的な予報については、今後の状況により変化する場合がありますので、注意報・警戒報や全般気象情報等に記述する数値を利用願います。